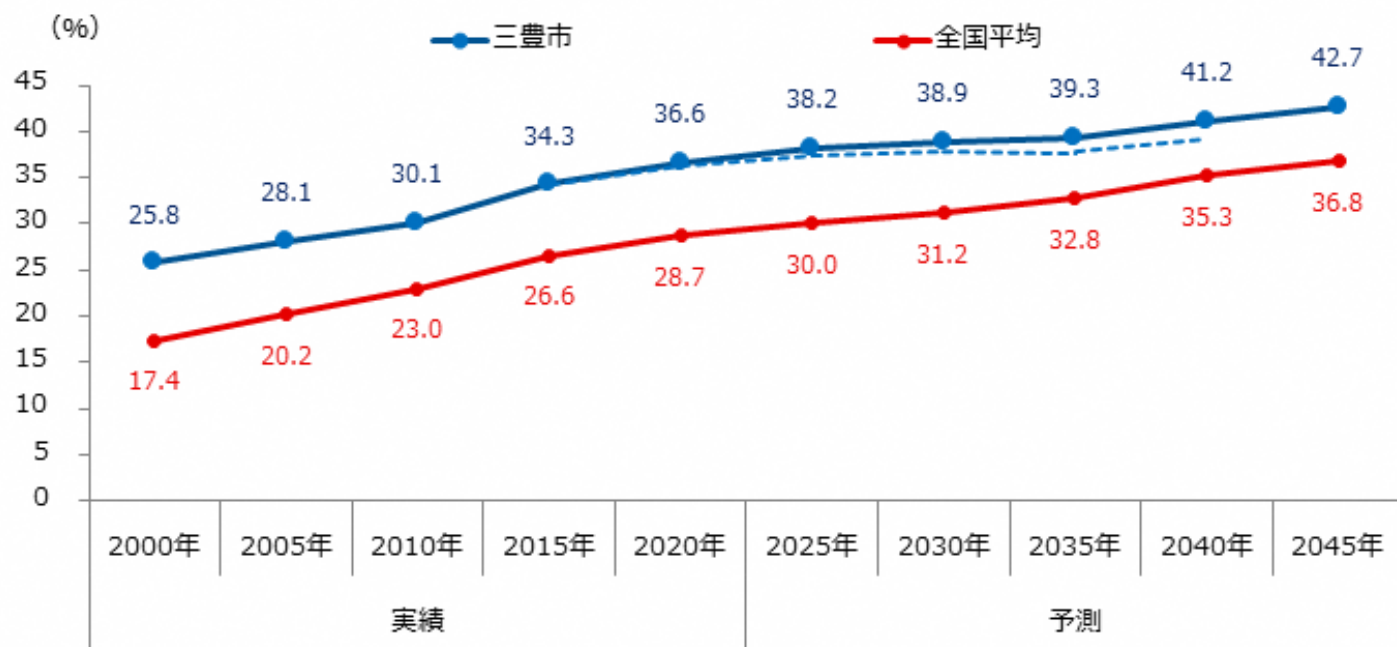




暮らしの交通がつくる未来



## 三豊市は全国と比べ、さらに高齢化率が上がっていく



※高齢化率：総人口にしめる65歳以上の人口割合（%），年齢不詳を除いて算出

※図中の緑の点線は、前回2013年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率

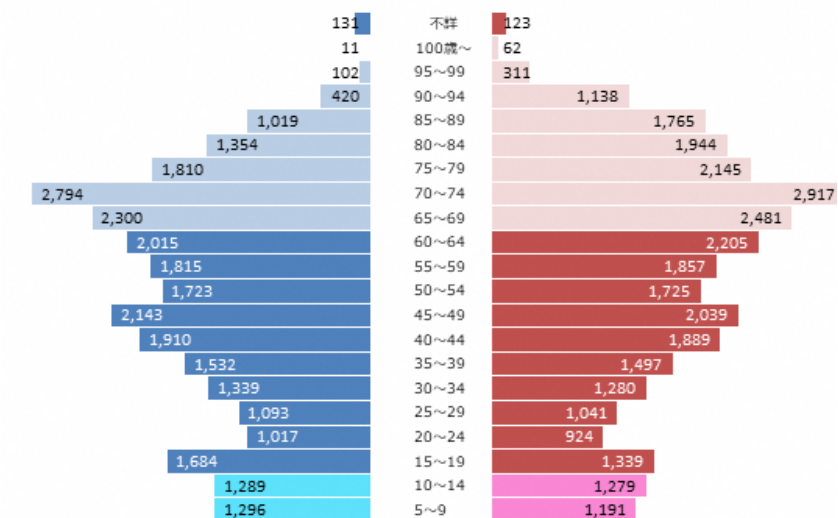
© jp.gdfreak.com



# 三豊市は全国と比べ、さらに高齢化率が上がっていく

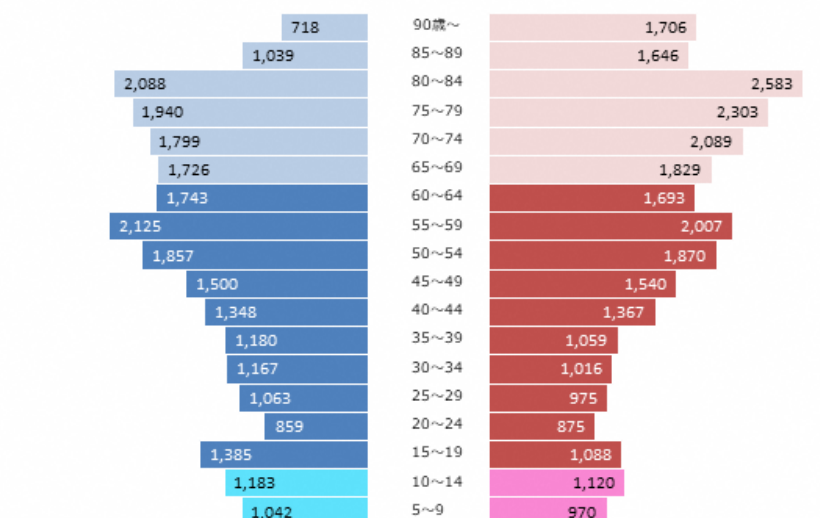
## 2020年

男性計：29,770人



## 2030年

男性計：26,650人





高齢化率が上がれば上がるほど、税金だけでは賄えなくなる

生産労働人口の減少による税収の低下。

介護医療費の増加による財政の圧迫。



まちの課題は、まちのみんなできき合う



詫間交通



さくらタクシー

## 暮らしの交通の想い



暮らしの交通は、まちに住むすべての人々の  
自由な移動を支えます。

買い物に行く、人に会いに行く、新しくできたお店に行く。

これまで諦めないといけなかったこと含め、  
移動欲求に素直に向き合える。

そんな未来のまちの暮らしを当たり前にしていきたい。

ぜひ、一緒にまちの交通を作っていきませんか。



ご清聴ありがとうございました。

FaceBook : hayate tajima

Mail : hayate.tajima@[kurashinokoutsuu.jp](mailto:hayate.tajima@kurashinokoutsuu.jp)